



JAPANESE RED CROSS NAGOYA DAIICHI HOSPITAL

日赤なごや

人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.



名古屋第一赤十字病院

日本赤十字社

Japanese Red Cross Society

地域医療支援病院・地域がん診療連携拠点病院
救命救急センター・総合周産期母子医療センター
地域中核災害医療センター
造血幹細胞移植推進拠点病院



Vol. 57
Summer 2017

Medical Frontier

放射線診断科 部長
伊藤 茂樹 医師

Professional Style

水野 宏論 さん

お知らせ

造血細胞移植治療の人材育成に貢献
ベトナム保健省から人民健康章を受章

ふれあい通信

ANAグループ すずらん贈呈

おクスリ豆知識

便秘症のお薬についてのお話



Professional Style

プロフェッショナル
スタイル

Vol.57

表紙のひと
一般消化器外科 医員
みずの ひろのり
水野 宏論さん



がんと闘う患者さんのために 今できることを着実に。

知識も技術も身につけた分だけ 患者さんのお役に立てる仕事です。

消化器は、胃や腸、食道、肝臓、胆のう、すい臓など、食べたものを消化・吸収し、不要なものを排泄物として送り出す大切な器官です。その消化器にできたがんなどの悪性疾患や胆石症などの良性疾患を、手術等で治療するのが消化器外科。外傷やヘルニア（脱腸）等の治療も行っています。

当科には総勢15名以上の外科スタッフがあり、年間1,000件以上の全身麻酔手術を行っています。また、腹腔鏡手術など、患者さんに負担の少ない手術も積極的に行っています。

私は後期臨床研修医*として週一回の外來担当の他、様々な手術の術者や助手を務めています。

当院は急性期病院のため、夜間・休日の患者さんも多く、緊急対応や手術

も行います。すぐに手術しなければ生死にかかわる場合もあるため、治療を終えた患者さんがその後元気に退院される姿を見ると、本当によかったと、喜びとやりがいを感じます。

私は小学生の時に祖母を胃がんで亡くし、がんという病気は何ともならないものかと、悲しく思ったことを覚えています。医師になって4年目。まだ修練中の身ですが、将来的には消化器外科の専門医をめざしています。

まずは、患者さんに 「安心」という処方箋を届けたい。

消化器は多臓器を含むため病気の症状や進行もそれぞれで、治療の選択肢もたくさんあります。例えば、大腸にがんがある場合、手術により切除するだけでなく、抗がん剤を用いる方法もありますし、あえてがんを切除せずに人工肛門な

どをつくる方法や緩和ケア治療も行います。大切なのは、患者さん一人一人の病態や体調に最適な方法を見出すこと。生活環境など、これからの暮らしについても考慮する必要があります。

「患者さんにとって主治医が頼りです。患者さんはどんな些細な事でも話を聞いてもらえれば、安心するものです。」

これは、学生時代にお世話になった先輩医師の言葉です。実際に自分も主治医を務めるようになりましたので、この言葉をいつも胸におき、患者さんの診療にあたっています。消化器は生活習慣などの影響を受けやすく、がんなどの病気が起こりやすい部位としても知られています。一見、病気には関係ないと思われるお話にも、できる限り耳を傾けて、より良い治療法を患者さんに提案していくことを心がけています。

*医師国家試験に合格後、2年間の初期臨床研修を経て、専門領域で経験を積む医師

おクスリ 豆知識

第44回

便秘症のお薬についてのお話

お通じの調子で悩んでいる方はいらっしゃいますか。

便秘症は、男性2.6%、女性4.9%と女性に多い病気です。年齢が上昇するにつれて便秘症の方が増えていきます。便秘症にも種類があり、大腸などに異常があることによっておこる器質性便秘症と、その他機能性便秘症があります。機能性便秘症には、ストレスなどによる一時的な便秘症や、大腸の動く力が落ちることによる弛緩性便秘症、便秘症を起こしやすいお薬（パーキンソン病治療薬、うつ病治

療薬、オピオイドなど）を内服することにより引き起こされる薬剤性便秘症などが含まれています。

便秘症に対して使用できるお薬として、浸透圧性下剤や刺激性下剤などがあります。浸透圧性下剤として、日本でよく使用されているのが酸化マグネシウムです。比較的安全性が高い薬ですが、吐き気やめまい・だるさなどがある場合は、時として血液中のマグネシウム値が高くなっていることがあり、注意が必要です。特に高齢者の方は注意しましょう。

刺激性下剤には、センノシドやピコスルファートなどが含まれます。これらのお薬は即効性が高いといわれていますが、一般的に身体が慣れてしまいやすく長期的な内服で効き目が低下してしまうことがあります。

水分摂取、食物繊維、乳酸菌の摂取そして運動など、ライフスタイルの改善も重要です。お薬を使う場合も、お薬の特徴を確認してみましょう。

MEDICAL FRONTIER

メディカル フロンティア

最前線医療レポート vol.55

患者さんの見えないところにも、
病気やけがの治療を支える
専門の医師がいます。

正常な組織の間に潜む 小さな悪(病変)を捜し出す!

放射線診断医は、CTやMRI等の画像をチェックして、がん等の病変がどこかにないか、あればその程度や転移はないか等を調べる画像診断の専門職です。欧米の医療分野では古くから一般的な存在でしたが、日本では従来、専門医の数も患者さんと接する機会も少ないため、イメージしにくい存在かもしれません。検査機器の進歩によって画像診断の需要が高まり、現在では可能な限り診断医が画像を読影して、レポートする時代になっています。

当科では、院内外の各診療科の医師より依頼^{※1}を受けて、頭の方からつま先まで、様々な画像の読影を行っています。場合によっては、胃がんの診断のためのCT画像から大動脈瘤や腎がんを見つけることもあります。私たちは丹念に一つ一つの画像を観察し、正確な情報をいち早く依頼医に伝えることで、患者さんの治療に貢献することをめざしています。

※1 一般の方からの依頼は受けておりません

体の中は今、どうなっているの? CTやMRIが教えてくれます。

CTは「X線」を、MRIは「磁石」を使って、体をいろいろな方向から輪切りにした画像や3D等の画像を作成できる検査機器です。

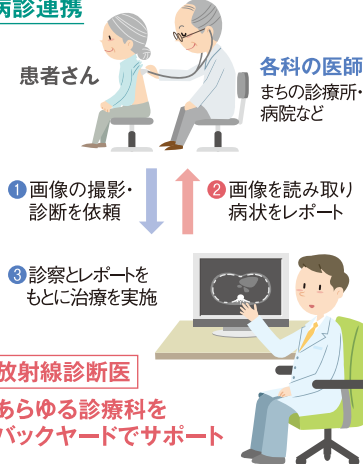
CTの特徴は、検査時間が短いことで全身を10秒程度で撮影できます。当科では、2013年に2管球128列マルチスライスCTを、2017年には320列マルチ

スライスCTを導入し、より短い時間で精緻な画像が得られるようになりました。例えば、冠動脈を観察するCT検査^{※2}も精度が飛躍的にアップして、外来で検査できるようになっています。

MRIの特徴は、放射線被ばくがなく、CTに比べると、多くの例で病気と正常組織のコントラストがつきやすいことです。当科では2015年に最新鋭の3T-MRI^{スリーテスラ}を導入し、例えば、脳内の微細な血管も鮮明に画像化できるようになったため、小さな病変も発見しやすく、早期治療に役立っています。

また、近年注目されているのがPET-CTです。PETとは、がん細胞に集まる特殊な薬を投与して、体の中のがんを発見する検査法です。これにCTを組み合わせ、互いの特徴を生かすことで、自覚症状のない病変も発見できるようになりました^{※3}。現在は2台稼働中で、当院の人間ドックの選択メニューにも入っています。

病診連携



※2 心臓をとりまく血管の状態をみる検査
※3 検出できないがんもあります

病診連携を強化して 地域に役立つ検査と診断を。

検査機器はここ数十年で急速に進歩し、鮮明で詳細な画像が得られるようになりましたが、大量に作成される画像の中から小さな病変も見逃さないように迅速に診断する難しさを感じています。だからこそ、画像の診断医と臨床医の2重チェックは必要ですし、私たちは常に画像診断の最新知識を学び、専門性を高めたいかねばなりません。

当院は、地域の病院と連携しており、小さな診療所に通う患者さんも当院の機能を活用できるしくみができています。私たちはできる限り臨床の現場の声を聴き、どのような情報を提供することが必要かを把握して、診断に役立つレポートを作成できるよう努めています。そして、その取り組みこそが患者さんにより良い医療を届けることにつながると考えています。



放射線診断科 部長
日本医学放射線学会放射線診断専門医
日本核医学会PET核医学認定医
伊藤 茂樹 医師

Information
お知らせ

造血細胞移植治療の人材育成に貢献 ベトナム保健省から人民健康章を受章



造血細胞移植とは、白血病などの患者さんに、血液成分の元となる細胞を移植して、正常な血液を作ることができるようにする治療法です。

左から、3番目が副院長 伊藤医師、
2番目が第一小児科部長 加藤医師。

ベトナムの移植技術の向上を、長年にわたり支援し続けてきたことが評価されました。

平成29年4月7、8日の両日、ベトナムのハイフォン市で開催された第4回ベトナム幹細胞学術会議に当院副院長兼病理部長の伊藤雅文医師と第一小児科部長兼第三小児科部長加藤剛二医師が招待され、講演を行った後ベトナム保健省から人民健康章(直訳)として賞状とメダルを授与されました。

白血病等の治療に有用な造血細胞移植の諸問題が討議されたこの会議で、造血細胞移植の世界的権威であるアメリカ国立健康研究所(NIH)のニール・ヤング教授、ロバート・チャイルド教授、ドイツハイデルベルク大学アントニー・ホー教授と同時に受章となったことは、大変意味のある受章となりました。

同章はベトナムにおける造血細胞移植治療の立ち上げへの貢献に対して授与されたもので、2013年にベトナムの国立血液輸液研究所から医師及び技師を造血細胞移植や臍帯血^{※1}バンクに関する研修のために10名以上当院^{※2}に受け入れ、その後同研究所内に設立された臍帯血バンクからの移植患者の治療法や合併症に関する問い合わせに対してコンサルテーションしたことを評価されたものです。

造血細胞移植治療を開始したベトナムでは、日本の草創期の治療成績と比較して遜色のない治療成績をあげているとのことで、両医師は自分たちの支援が結実した喜びを感じると共に、支援の継続に努めたいと話しています。



加藤医師は、臍帯血バンク設立に必要な技術指導に加え、制度づくりにも協力。



現地の若手ドクターたちに向け、特別講演を行う伊藤医師。日本とベトナムを結ぶ先人の絆について紹介しました。

※1 臍帯血は、妊婦さんの「へその緒や胎盤に含まれている血液」で、移植に必要な「幹細胞」が豊富に含まれています。

※2 当院は、2013年に全国初の「造血幹細胞移植推進拠点病院」として厚生労働省より認定されました。

ふれあい通信

Topics

ANAグループ すずらん贈呈

6/1

平成29年6月1日(木)、ANA(全日空)グループ「すずらん贈呈」のため同社の客室乗務員をはじめ6名が来院されました。入院中の患者さんの一日も早い回復を願い、すずらんを贈るこの取り組みは、日本赤十字社の全社的事業で昭和31年に始まり、今年で62回目となります。

贈呈式では「しあわせ」の花言葉を持つすずらんの鉢植えと、グループ社員の皆さんがメッセージを書き込んだ「すずらんのしおり」が、客室乗務員のお二人と地上係員のお二人から宮田院長へ贈られました。

その後、西棟11階A、B病棟にて、客室乗務員及び地上係員の方から患者さん一人一人に、励ましの言葉とともにすずらんのしおりが手渡されました。患者さんはたいへん喜ばれ、「良い香りがする。ありがとう。」と笑顔で話されました。



なごやかコンサート

名古屋を中心に活躍されているフルート・オカリナ奏者 加藤由記さんをお迎えし、今年も「なごやかコンサート」を開催いたします。ぜひ会場に足をお運びください。

開催日 平成29年8月21日(月) **時間** 15:00~
会場 西棟1階ホスピタルモール



がんサロン「コスモス」開催のご案内

がんによる悩みや不安を自由に語り合う場、がんサロン「コスモス」を開催いたします。予定は下記のとおりです。ぜひご参加ください。



開催日 平成29年
 7月25日(火)
 8月22日(火)
 9月26日(火)
時間 15:00~16:30
会場 東棟2階 会議室1

健康教室を開講します

参加
無料

テーマ 「緩和ケア」
 ~がんによる心と身体の苦痛を和らげる医療~
座長 緩和ケアセンター長 湯浅 典博
講師 緩和ケア科 医師 河合 奈津子
 「緩和ケアとは」
講師 がん性疼痛看護認定看護師 志村 みゆき
 「緩和ケアチームの役割」
講師 緩和ケア認定看護師 平野 美枝子
 「緩和ケアセンターにおけるケア」

開催日
 平成29年
 7月6日(木)
時間
 14:00~16:00
会場
 東棟2階
 内ヶ島講堂

外来診療担当医表

※担当医は都合により変更になる場合がございますのでご了承ください。 2017年7月1日現在

診療科目		月	火	水	木	金
内科	血液	小澤	宮村	宮村	小澤	森下
		尾崎	佐藤	川島	吉野	池野
		—	PM 森下	加賀谷	PM 新家	—
		PM 吉野	PM 大引	PM 佐藤・池野	PM 尾崎	PM 加賀谷
	内分泌	清田	上田	尾崎	尾崎	清田
		上田	岡崎	—	渡邊/PM 吉藤	吉藤
	腎臓	遠藤	石川	青井	鷺野	石川
	神経	真野/PM 高阪	平野	後藤	真野	後藤
		馬淵	森	馬淵	渡邊	安藤
		渡邊	小森	蛭籬	高阪	平野
循環器	新患	三浦	近藤	山田	岡部	尾崎
	再診	神谷	交代/(花木)	神谷	柴田(義)	柴田(義)
		柴田(義)	嶋野	清水	安田	森下
	※第1・3・5金曜日(午後)専門外来、第2・4金曜日(午後)板東					
呼吸器	新患	青山	横山(俊)	佐野/西山	山田	高納/木村
	再診	山田	谷本/PM 西山	青山	横山(俊)	野村
消化器	PM 篠塚	佐野/町井	PM 木村	高納/PM 篠塚	横山(俊)/横山(俊)	—
	土居崎	春田	鷺見	山口	春田	—
	吉岡	山口	村手	大橋	土居崎	—
	鷺見/PM 高野	大橋/PM 青井	八田	村手/PM 河村	青井	—
総合診療	—	松久	—	PM 榛葉	—	
小児科	午前	福見	加藤(剛)	安田	鬼頭	岸本
		落合	西門	坂口	福見	八田/西門
		北井	大萱	三井	若松/山森	竹内
		奥山	橋本	(交代)	朱	浅井
		—	—	—	—	川田
	アレルギー	—	—	—	田島	—
	循環器	三井	—	—	福見	—
	血液	—	加藤(剛)	PM 土居崎	吉田	(交代)
	神経	—	—	竹内	大萱	夏目
	腎臓	—	渥美	—	—	—
午後(専門外来)	新生児発達	鬼頭	中山	新井	安田	大城
	濱崎	田中	—	—	—	
	予防接種	(交代)	(交代)	—	—	—
乳児健診	—	—	(交代)	—	—	
小児内分泌	—	—	—	—	八田/西門	
●予防接種・乳児健診は10日前までにご予約ください。詳しくは受付にお問い合わせください。						
外科	一般消化器外科	宮田	竹内	湯浅	永井	宮田/永井
		三宅	吉岡	奥野	毛利/PM 竹内	三宅
		前田/PM 水野	長尾	浅井	深田	南
	乳腺内分泌外科	—	田中/PM 後藤	後藤	後藤・田中	PM (交代)
	心臓外科	澤木伊藤(新患)	伊藤	前川	柳澤	所
	血管外科	—	山本	錦見(新患)	徳永	—
	呼吸器外科	森/福本	森/PM 森	森	—	森
小児外科	村瀬	村瀬	—	—	—	
禁煙外来	毎週火曜日(13時~15時) 横山(祐)					
形成外科	林/足立	—	林	—	足立	
整形外科	新患	長谷	山賀	井戸	田中	杉浦
	再診	井上	堀井	井上	堀井	石川
		洪	山本	八木	洪	八木
		風間	石川	山賀	山本	長谷
—	田中	—	杉浦・井戸	風間	—	

診療科目		月	火	水	木	金
脳神経外科	波多野	—	—	稻尾	—	岡本
	服部	(交代)	(交代)	波多野	(交代)	—
	木部	(交代)	(交代)	(交代)	(交代)	藤谷
皮膚科	西田	澤田	澤田	澤田	澤田	澤田
	芳川	西田	西田	西田	西田	西田
	(交代)	芳川	芳川	芳川	芳川	芳川
泌尿器科	服部	平林	鈴木(弘)	鈴木(弘)	服部	—
	鈴木(省)	—	永山/松井	佐野	平林・松井/永山	—
女性泌尿器外来	加藤	加藤	鈴木(省)	加藤(新患)	—	—
	—	鈴木(省)	PM 加藤	—	—	—
●新患は(木)にご来院ください。						
産婦人科	新患	安藤	柵木	手塚	齋藤	水野
	再診	福原/PM 上田	水野/PM 猪飼	坂堂	廣村/PM 西子	猪飼/PM 福原
	生殖内分泌・内視鏡	齋藤	安藤	—	安藤	齋藤
	化療外来	—	(交代)	(交代)	(交代)	—
	妊婦診	柵木	木村	夫馬	江崎	手塚
		津田	—	—	—	津田
パースセンター	—	PM 大西	—	—	(交代)	
眼 科	新患	佐藤	(交代)	佐藤	(交代)	小林
	再診	(交代)	(交代)	(交代)	(交代)	(交代)
耳鼻咽喉科	新患	寺田	鈴木(淳)	柵植	伊藤	大西
	再診	柵植	寺田	寺田	柵植	伊藤
		大西	伊藤	鈴木(淳)	大西	鈴木(淳)
リハビリテーション	堀井	洪	石川	井上	山本	
放射線科	山田	山田	山田	山田	山田	
	高瀬	高瀬	高瀬	高瀬	高瀬	
●詳細は受付にお問い合わせください。						
歯科口腔外科	新患	大岩	佐藤	(交代)	長縄	(交代)
	再診	佐藤	大岩	—	大岩	—
		長縄	長縄	—	佐藤	—
		佐久間	佐久間	—	佐久間	—
緩和ケア科	緩和ケア外来	火曜日 PM 河合	水曜日 PM 湯浅	—	—	

外来診療のご案内

- ◆初診 …… 総合案内で『診療申込票』に必要事項をご記入の上、保険証・紹介状・各種医療証書を添えて、新患受付にお出ください。
- ◆診療受付時間 …… 午前8時20分～午前11時 (緊急および予約されている方はこの限りではありません)
- ◆休診日 …… 土曜・日曜・祝日 年末年始(12月29日～1月3日) 日本赤十字社創立記念日(5月1日)
- ◆セカンドオピニオン …… 詳しくは患者相談室までお問い合わせください。
- ◆専門外来 …… 患者相談室 電話052-485-3503(直通)

お問い合わせ先 **052-481-5111** (代表)



当院は、病院敷地内全面禁煙です。ご理解とご協力をお願いいたします。

人間ドックのご案内

年に一度の健康管理をしてみませんか?

- ◆健康管理センター …… 電話にてお問い合わせください(予約制です)
- ◆受付時間 …… 月～金曜日(休診日を除く)午前8時50分～午後5時20分 電話052-471-3855(直通)

休診情報はホームページでご覧いただけます。

<http://www.nagoya-1st.jrc.or.jp/>

TOP » 診療科部門 » 休診情報



名古屋第一赤十字病院

日本赤十字社

〒453-8511 名古屋市中村区道下町3丁目35番地
TEL.052-481-5111(代表) FAX.052-482-7733
<http://www.nagoya-1st.jrc.or.jp/>

理念

皆さまとの出会いを一期のことと心得、その痛みを分かちあい、苦しみを共にしつ、一日も早く健康の幸せを喜びあえるよう努めます。

基本方針

- 1 皆さまが安心できる癒しの森といたします。
- 2 高度・良質で安全な医療をいたします。
- 3 災害救護活動を積極的に行います。
- 4 周産期・小児及び救急医療を充実します。
- 5 医療連携を密にして地域完結型の医療を目指します。
- 6 職員の教育・研修を推進します。
- 7 健全経営を維持するように努めます。

臨床研修の理念

医療に必要な不可欠な知識や技術の習得により、いかなる状況下でも人間の命と健康、尊厳を守る能力を身につけることを目的とする。名古屋市西部という都市部における社会構造・高齢化など地域にとって必要な医療を理解し、在宅医療などの社会医療サービスとの連携をはかり、地域医療貢献の修得を目的とする。